

事業番号	02 11 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	グローバル化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	国際交流課	
		実施期間	不明～	E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・コロナ禍で国際的な人の往来が長期間停止（令和3年外国人入国者数：△98.9%（R1年比））
- ・令和4年10月に我が国の水際対策が大幅に緩和され、コロナ禍以前の往来とほぼ同様に戻ることから、リアルによる交流を早期に再開させるとともに、各国との協力・連携関係（パートナーシップ）を推進し、本県の認知度とプレゼンスを維持・向上する必要がある
- ・令和5年4月にはG7外務大臣会合が軽井沢町で開催される予定

2 事業目的

- ・海外の国や地域との対面による交流を再開させることを通じて友好関係を一層発展させるとともに、県民の国際感覚の醸成を図る
- ・G7外務大臣会合の成功に向け最大限の支援を行うとともに、本県の魅力や強みを国内外に発信し、知名度のさらなる向上と本県産業の回復の後押しをする

3 事業目的を達成するための取組

- ①国際関係パートナーシップの強化**
- ・長野県と河北省の友好提携40周年を契機に、訪問団派遣、青少年等スキー交流、国際交流リーダー育成など各分野における交流のグレードアップを図る
 - ・韓国江原道から職員や学生を招へい
 - ・ミズーリ大学コロンビア校の学生の受入れ
- ②国際交流員（CIR）を活用した県内での国際交流**
- ・教育機関や地域の講座等への派遣
 - ・自主企画イベントの開催、SNSでの情報発信
- ③世界情勢や国の動向を踏まえた対応**
- ・県内に滞在するウクライナ避難民の生活を支援するため、支援金の支給や受入団体への助成を行う
 - ・G7外務大臣会合の成功のために最大限の支援を行うとともに、本県の魅力や強みを国内外に発信する

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由		
			実績	実績	推移				実績	推移
①	ジュニア選手交流競技数	競技	0	0	→	2	↗	1	達成	コロナ禍からの回復を見据え、安定的に1競技の実施を目指す
②	国際交流員の派遣満足度	点	4.50	4.79	↗	4.63	↘	4.85	未達成	コロナ禍からの回復を見据え、更なる高満足度を目指す

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
3-1⑤	移住・交流・多様なかわりの展開											

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	179,654	△ 1,476	178,178	63,623	166,829	8.5
R4年度	0	170,679	24,800	195,479	122,931	188,867	7.2
R3年度	0	376,123	△ 24,653	351,470	99,769	339,521	6.0

事業番号	02 11 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	グローバル化推進事業費		部局	企画振興部	課・室	国際交流課

7 主な取組実績と成果

① 国際関係パートナーシップの強化

- ・知事など産学官民の約60名による訪問団が中国河北省、北京市及び上海市を訪問した。河北省と友好提携40周年記念行事を開催し、冬季スポーツや観光など様々な分野で交流を積極的に進めることを確認するとともに、北京市とオリンピック施設の後利用や観光分野等で交流・協力をを行う覚書を締結した。
- ・欧州が先行するデジタルやEVなど産業分野における連携強化、観光・物産に関する販路開拓、環境施策に関する視察等を目的に、知事が経済関係者等と欧州4か国を訪問した。ドイツにあるフ라운ホーファー研究機構応用情報技術研究所とは、研究等の情報交換や職員の相互交流を進める共同宣言を行った。
- ・姉妹提携している米国ミズーリ州の知事が33年ぶりに来県し、産学官の関係者と共に交流した。両県州知事が今後の友好交流を再確認し覚書を締結した。

② 国際交流員（CIR）を活用した県内での国際交流

- ・県内の小中学校や団体等に国際交流員（米国、英国、中国、韓国）を計135回派遣し、母国の文化・歴史等の紹介や語学講座等を行った。
- ・国際交流員の自主企画による「文化講座」や「語学教室」等を開催した他、SNSを通じて海外の文化を発信した。

③ 世界情勢や国の動向を踏まえた対応

- ・県内のウクライナ避難民に対し生活支援金を支給した。
- ・「G7長野県軽井沢外務大臣会合」の安全で円滑な開催のため、軽井沢町や県警等と連携して国への支援を行った。また、会合において県産食材を活用した料理や県産ワイン・日本酒等を提供したほか、国際メディアセンターにおいて長野県のPRブースを設けるなどした。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	ジュニア選手交流競技数	R4年度推移	→	R5年度推移	↗	達成状況	達成
新型コロナウイルス感染症のため令和2年度以降交流が途絶えていたが、河北省と北京市への訪問を契機に、両省市からアルペンスキージュニア選手団を受入れ、野沢温泉村でスキー合宿を実施したほか、県内のスノーボードジュニア選手を河北省の合宿へ派遣した。							
指標②	国際交流員の派遣満足度	R4年度推移	↗	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
学校行事等への派遣は135件と前年度より50件増やすことができ、満足度も高い水準を維持したものの、前年度を超えることができず目標値を下回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・コロナ禍は海外との交流がほぼできなかったことから、海外との人的交流をより一層促進することが求められている。このため、海外との交流を再開した昨年度の交流内容を更に充実し、中国の友好都市等との交流を更に活発にするとともに、国内では駐日大使館等との連携を深めるなど、国内外で交流の幅を広げていく必要がある。
- ・コロナ禍で減少していた国際交流員の小中学校等への派遣を一層進めるとともに、大学生や一般県民が海外の文化に触れる機会を増やしていく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・新たに北京市との間で青少年交流事業を実施するほか、国内では駐日大使館との共催によるイベントの実施により、諸外国との更なる交流を促進する。
- ・県内大学との連携・協力を進め、国際交流イベントへの大学生の参加を増加させるとともに、学生が企画の段階から主体的に関わるイベントを実施し、若い世代にとって魅力的な交流機会を創出する。
- ・国際交流員の周知や国際交流員による自主企画イベントの内容の充実を図るとともに、SNSを通じて発信し、認知度向上により活動機会の増加につなげる。

事業名	グローバル化推進事業費	部局	企画振興部	課・室	国際交流課
-----	-------------	----	-------	-----	-------

細事業No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	国際化啓発推進事業	226,476 千円	29,541 千円	33,014 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	国際関係パートナーシップ強化事業	直接 委託	海外の自治体との連携を強化し、観光・経済分野での相互利益の創出等につなげるため、中国や米国等の友好都市との交流を産学官民の参加を得て実施 ・大学生国際交流リーダーの養成講座・イベントを開催 ・韓国江原道と共催で銀座NAGANOにおいてPRイベントを開催 ・米国ミズーリ州からの訪問団を受入れ産学官の関係者が交流 江原道との交流イベント：1回、ミズーリ州訪問団受入れ：1回	
2	中国・中南米との青年交流事業	直接	・本県と中南米日系人社会や河北省との交流を担う人材を育成するため、在ブラジル長野県人会や河北大学から研修員を受入れ 受入れ：1名（ブラジル）、10名（中国）	
3	英語・中国語通訳職員設置事業	直接	・県の国際関連業務や外国籍県民対応のため、英語及び中国語による通訳や資料の翻訳を実施 通訳翻訳件数：114件（英語）、78件（中国語）	
4	国際交流員設置事業	直接	・地域における草の根レベルの国際交流を推進するため、小学校等の教育機関や地域の講座・イベント等に国際交流員を派遣または自主企画イベントを開催 派遣件数：135件	
5	国際交流推進事業	直接	・国際交流に係る事務費 ・海外の先進的な知見を得るため、グローバルNAGANO推進アドバイザーとのミーティング ミーティング：2回	
6	ウクライナ避難民支援事業	補助金	・県内に滞在するウクライナ避難民の生活を支援するため、支援金を支給 支給実績：2人	

細事業No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	河北省友好提携事業	0 千円	0 千円	4,962 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中国大学生インターンシップ活用事業	直接	長野県と河北省の交流の担い手となる人材を育成するため、河北大学の学生1名をインターンシップ生として受入れ 研修期間：2か月	
2	長野県河北省友好提携40周年記念事業	直接 委託	河北省との友好提携40周年を契機に知事や県内関係者が河北省や北京市等を訪問し、河北省長や北京市長など関係者と友好交流の再開や推進を確認 40周年訪中団派遣：1回（産学官民56名参加）	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	海外県人会連携事業	1,823 千円	1,823 千円	1,823 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	海外県人会運営費補助金	補助金	本県から移住した中南米日系人社会の発展に協力し、本県との友好交流を促進するため、ブラジル及びアルゼンチンの海外県人会の運営や各種事業に対し、補助金を交付 ブラジル：1,600千円、アルゼンチン：200千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	自治体国際化協会職員派遣事業	13,132 千円	15,958 千円	10,583 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	自治体国際化協会海外事務所派遣事業	直接	（一財）自治体国際化協会本部及び海外事務所に職員を派遣し、実務型の長期派遣研修を実施 派遣職員：シンガポール事務所1名、クレア東京本部1名	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	一般外事事務	25,411 千円	67,951 千円	31,388 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	一般外事事務	直接	県内自治体の国際化の推進及び教育現場での外国語教育の充実を図るため、（一財）自治体国際化協会の海外事務所整備に係る分担金の支出や外国青年招致事業を実施 分担金：26,000千円	
2	G7外務大臣会合推進事業	直接 負担金	・関係省庁との連絡・調整等のための事務的経費の支出 ・記念誌作成、医師・看護師派遣謝金支払い等のための負担金の支出 開催期間：令和5年4月16日～18日	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	一般旅券事務	72,679 千円	73,594 千円	85,059 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	一般旅券事務	直接	法定受託事務である一般旅券発給に係る申請の受理、作成及び交付事務を適正に実施。また、電子申請の運用及びオンライン決済の導入を推進 県内窓口数14、申請受理41,887件、交付39,077件	